

## JA Travel and Tourism Business Program (TTBiz) 2019 実施要項 - 高校生による旅行ビジネスプラン国際大会 -

2019年5月

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

### はじめに

東京オリンピックを来年に控え、訪日旅行者は年々増加の一途を辿っています。また、旅行・観光業は、世界の多くの国で雇用を生み、経済において大変重要な位置を占める産業です。日本では、その豊かな観光資源を、今後益々世界に向けてアピールしていく機運が更に高まっていくことでしょう。そのような環境の中、JA Travel and Tourism Business Program (TTBiz) は、旅行という身近な題材を通じて、日本の高校生が海外の生徒と一緒に日本の良さを再発見し、それを海外に発信する力をつけることを目的とするコンテスト形式の教育プログラムです。

TTBiz は、韓国、シンガポール、そしてフィリピンをパートナーとしています。2012年度、アクセンチュア株式会社のご支援を得てスタートしました。アクセンチュア株式会社は、グローバル共通テーマ“Skills to Succeed”の下、8つの領域で社会貢献活動に取り組んでおり、その領域のひとつに「次世代グローバル人材の育成」が位置づけられています。テクノロジーの進化でボーダレス化が進む中、「グローバル人材」は単に英語でコミュニケーションができる人を意味しません。TTBiz では、英語力そのものよりも、自身の意思を伝えたい、あるいは相手の考えを理解したいという意欲を持ち、異なる価値観や文化を持つ仲間とのコミュニケーション能力を高めることで、新たな価値を生み出せる真のグローバル人材育成を目指します。

**本プログラムは、企業の社員が全面的にバックアップし、Web 会議システムによる打ち合わせ、英語での旅行企画立案、数ヶ国をネット接続して行う英語のプレゼンテーションなど、貴重な体験を生徒に提供するものです。運営は、全て企業からの寄付を得て行う非営利活動です。**

### TTBiz の目的

TTBiz を通して生徒が下記の能力・スキルを育み、将来グローバルに活躍する上で重要となる素養やマインドセットを養うことを目指します。また、参加した生徒が次世代のグローバルリーダーとなり、日本の競争力を高める中心的な役割を担ってくれることを期待します。

- 自国の文化・歴史・価値観等を再認識し、海外へ説明できる、また他者の意図の理解力
- 異なる文化・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかろうとする意欲
- 自らが考えて課題発見、問題の解決に向けて行動できる積極性
- チーム内でのディスカッションを通じて様々な異なる意見を纏めあげるリーダーシップ力
- マーケティング、PR、チームワーク、スケジュール調整、プレゼンテーションなど、将来社会に出た際に求められるビジネススキル

## JA Travel and Tourism Business Program (TTBiz)2019 の進め方

チーム単位で参加する日本の高校生が、くじ引きで韓国、シンガポール、フィリピンのうち2ヶ国の高校生チームとパートナーシップを組み、計3ヶ国から成る多国籍チームで協業し、所定の条件に基づいた旅行プランを立案します。書類選考を通過したチームは、更にアクセンチュア株式会社の社員がチームアドバイザーとなり、ウェブ会議やメールなどでアドバイスを受けながら企画をブラッシュアップ。最後に英語でプレゼンテーションを行います（報告書なども全て英語で作成）。各チームで作成した旅行プランは、あらかじめ提示された基準の元に審査され、最も優れたプランを作成したチームにはアワードが授与されます。

### 【学校の役割】

原則生徒が自主的に進めていくプログラムですので、企画内容についての指導は不要ですが、下記につきましてお願い申し上げます。

- 参加生徒の校内募集（参加希望者多数の場合は校内選考）
- 事務局であるジュニア・アチーブメント日本との連絡窓口
- **学校でグループ活動を行う際は、ネット会議へ接続できるインターネット環境と会場の確保（自宅でも可）**
- 最後までやり遂げられるよう活動中の生徒への動機付け、ならびに社会人と接するにあたってのマナー指導

【高校生の役割】 下記の「参加資格」を**全て**満たすこと

### 【企業の役割】

- アドバイザーとして各チームの担当社員を任命し、プログラムを通じて生徒それぞれが成長を遂げられるよう、「教える」のではなく「問いかけて引き出す」コーチングの手法でサポートする
- グローバル人材のロールモデルとして生徒に接する

## 優勝チームへ授与されるアワード

- 優勝：海外メンバーと一緒に日本国内旅行（3泊4日）  
※**日本メンバーが学校所在地の都道府県近郊を案内する旅行**となりますが、  
日本メンバーも海外メンバーと一緒に宿泊します

## 参加資格（定員 24 チーム）

- ① 高校1～3年生。1チームのメンバー人数3～4名で構成のこと。1校あたりの参加チーム数制限はありませんが、最後までやり遂げようという意欲を持った生徒さんを選出願います。また、異なる学校の生徒同士でチームを組んでも結構です
- ② 英語のコミュニケーションスキル（読む、聞く、書く、話す）がある、もしくは積極的に伸ばしたいという意欲があること
- ③ 異なる文化や習慣を持つ海外の高校生と、積極的にコミュニケーションを図る意欲があること
- ④ 自ら問題を発見し、解決に向けて行動できる積極性があること
- ⑤ プログラム期間中は、事務局・アドバイザーは、高校生ではなく社会人として生徒に対応します。相応のマナーで臨んでください。時には厳しい指摘・指導もありますので、ご了解下さい
- ⑥ **全員が定期的に確認できる添付ファイル受取り可能なメールアドレスを保有**していること  
※[yorikr@ja-japan.org](mailto:yorikr@ja-japan.org)からのメールを受信できるよう設定願います

- ⑦ 最後までやり遂げられること。またキックオフミーティング・予選会（オンライン実施）・決勝戦（東京集合）に全員参加できること（予選は書類選考通過チーム、決勝戦は更に予選通過チームのみ参加）
- ⑧ プログラムの事前・実施中・事後に実施されるアンケートに全て回答すること
- ⑨ TTBiz への参加を妨げるような短期留学など校外の他プログラムに期間中並行参加しない
- ⑩ より多くの生徒さんに体験していただくため、過去に TTBiz に参加したことがないこと
- ⑪ 連絡窓口となっただけのご担当教員が1名決まっていること
- ⑫ 生徒本人ならびに保護者の方に以下の事項にご了承いただけること
  - ✓ 活動の様子は、写真・ビデオ撮影されること。また、撮影された写真およびビデオは、プログラム普及活動等およびジュニア・アチーブメント日本、アクセンチュア株式会社の広報活動等において公開される可能性があること
  - ✓ メディアの取材等が入り、活動の様子が一般公開される可能性があること

### 参加費用

無料。また、アクセンチュア株式会社のご厚意により、予選を通過した4チームが決勝戦に参加するための自宅⇄会場交通費（生徒のみ）は実費支給されます。

※誠に恐れ入りますが、**ご引率の先生の旅費につきましては、補助がございませんのでご了承下さい。上記以外の活動時の交通費等は自己負担となります。**

### 参加チーム選考のステップとお申込み方法

#### ➤ ステップ1

校内で生徒募集をされる際には、下記の必要事項をEメールに明記の上、まずはご担当教諭より [yorikr@ja-japan.org](mailto:yorikr@ja-japan.org) までエントリーシートをご請求下さい。

- ① 学校名 ②ご担当教諭氏名 ③ご担当教諭Eメールアドレス ④学校電話番号

#### ➤ ステップ2

エントリーシートに生徒自身がチームで記入し、ご担当の先生より **2019年6月29日（土）** **必着**で [yorikr@ja-japan.org](mailto:yorikr@ja-japan.org) までエントリーシートをお送り下さい。

#### ➤ ステップ3

エントリーシートの記入内容を確認し、チームの参加可否のご連絡を、**2019年7月12日（金）** **まで**にご担当の先生にお知らせいたします。

### 主催

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

### 特別協賛

アクセンチュア株式会社

### 後援

文部科学省（予定）



ウェブ会議でのプレゼンテーションの様子

## お申込・お問い合わせ先

〒140-0001 東京都品川区北品川3-9-30 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

電話 090-5557-8726 Eメール: [yorikr@ja-japan.org](mailto:yorikr@ja-japan.org) 担当: 黒木

※出張・外出で移動が多いため、緊急時以外は原則メールをご利用ください

## 活動スケジュール (キックオフ、最終審査会以外は予定ですので変更の可能性もあります)

日程	活動
<b>8月4日(日)</b> 午後 (正式な時間は後報) ※ウェブ会議で実施。高速ネット回線が利用できれば学校、自宅等どこからでも参加可	<b>キックオフ・ミーティング</b> ・プログラム概要説明 ・多国籍チームで活動するときの注意点 ・チーム組合せ発表
8月 (各チームで活動)	<b>活動開始準備</b> ・コミュニケーションのルール・方法確認 ・チーム内の役割分担、活動スケジュール決定
9月: 課題ワークシート完成 ※ここまでは生徒だけの活動となります	<b>課題ワークシート作成</b> ・所定のフォームに旅行コンセプト、ターゲット顧客等必要事項を記入 ・Skype等を利用したチームミーティング
<b>10月12日(土)</b> : 課題ワークシート提出締切 <b>10月26日(土)</b> : 書類選考通過チーム発表	<b>アドバイザー社員紹介</b> ・書類選考通過 <b>12チーム</b> に担当アドバイザーを紹介
11月中の下記からチームごとに選択 9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日) ※ウェブ会議で実施。高速ネット回線が利用できれば学校、自宅等どこからでも参加可	<b>中間報告会(公式ウェブ会議) ※チームごと</b> ・アドバイザーまたは事務局からアドバイス ・最終化に向けてアクションプラン策定
12月~2020年1月: チーム毎に活動	<b>アクティビティレポート提出、リハーサル実施</b> ・指摘事項・改善点の反映 ・プレゼンテーション準備
<b>2020年1月19日(日)</b> 時間未定 ※ウェブ会議で実施。高速ネット回線が利用できれば学校、自宅等どこからでも参加可	<b>審査会予選</b> ・各分野からの審査員による評価
<b>2020年3月15日(日)</b> 時間未定 場所: アクセンチュア東京オフィス (赤坂)	<b>審査会決勝(予選通過4チームのみ)</b> ・各分野からの審査員による評価
2020年6月中	<b>アワード旅行催行(日本の優勝校所在地エリア近郊)</b>



## **過去の優勝生徒の声** 前田 真悠子さん（2017 年度参加 熊本県立八代高等学校）

友達の誘いと先生からの勧めで、とりあえず参加してみた TTBiz。事の始まりはそんなものでした。あの頃は、まさか優勝するなんて夢にも見ていませんでした。お盆が明け、少し不安を抱えながら、チームでの活動が始まりました。私たちのチーム内では一次審査締め切り間近まで、何度も議論を重ねました。時に、意見がぶつかることもありましたが、そのおかげでより意見を深め、お互いを理解し合い、チームの絆を深めることが出来ました。その甲斐あって、プレゼンテーションでは自信を持って発表出来ました。私たちは英会話スクールに通っているわけでも無く、チームコミュニケーションで苦労することが多々ありましたが、「優勝」という言葉を聞いた瞬間に何もかも吹き飛ばしてしまいました。TTBiz は努力の先に必ず得るものがあることを教えてくれます。大切なことは最後まで絶対に諦めないこと。分からない単語があったら調べることで、少しずつ英文が理解出来ていきます。そうすれば話についていけるので楽しいです。結果はどうであれ、自分の努力に相応して必ず大きなものが返ってきます。TTBiz に挑戦して本当に良かったです。アワード旅行では、たった3泊4日で、再会を約束するほど、仲良くなれました。私のたどたどしい英語に耳を傾けてくれて、大いに会話が盛り上がりました。忘れられない思い出です。最後に、こんなにも素晴らしい経験を与えてくださったアクセンチュアとジュニアアチーブメントの皆様、シンガポール、フィリピン、そして日本のチームメイトに大いに感謝します。本当にありがとうございました。

## **ご参考**

### ▶ ジュニア・アチーブメントについて

米国で発足した世界最大の経済教育団体で、今年設立 100 周年を迎える民間の非営利団体です。日本本部の設立は 1995 年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適応できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト [www.ja-japan.org](http://www.ja-japan.org) をご参照ください。

### ▶ アクセンチュアについて

アクセンチュアは「ストラテジー」「コンサルティング」「デジタル」「テクノロジー」「オペレーションズ」の5つの領域で幅広いサービスとソリューションを提供する世界最大級の総合コンサルティング企業です。世界最大の規模を誇るデリバリーネットワークに裏打ちされた、40 を超す業界とあらゆる業務に対応可能な豊富な経験と専門スキルなどの強みを生かし、ビジネスとテクノロジーを融合させて、お客様のハイパフォーマンス実現と、持続可能な価値創出を支援しています。世界 120 カ国以上のお客様にサービスを提供するおよそ 47 万 7000 人の社員が、イノベーションの創出と世界中の人々のより豊かな生活の実現に取り組んでいます。アクセンチュアの詳細は [www.accenture.com](http://www.accenture.com) を、アクセンチュア株式会社の詳細は [www.accenture.com/jp](http://www.accenture.com/jp) をご覧ください。

### ▶ アクセンチュア株式会社の企業市民活動「Skills to Succeed」について

アクセンチュアは、事業活動を通じて培った「人材のスキルを高めるノウハウ」を生かし、Skills to Succeed（スキルによる発展）と呼ぶ全世界共通の社会貢献テーマに取り組んでいます。「2020 会計年度末までに世界中で 300 万人に就業や起業に関わるスキル構築の機会を提供すること」を目標に掲げ、高い実行力を持った NPO 法人と協力して、国や地域の実情に合わせて選択した「人材スキルの向上」に関わる様々な活動を推進しています。日本においては、グローバル化や少子高齢化、労働人口の減少などの社会の構造的な変化のなかで経済を持続的に発展させていく必要があります。そのためには、個々人のスキル向上が欠かせないことから、将来の日本の国際競争力に関わる人材課題として 8 つのテーマ掲げ、多様な活動を展開しています。そのテーマの 1 つとして、初等・中等教育課程の子どもたちを対象にした「次世代グローバル人材の育成」に取り組んでいます。